

「2003 地球環境

米米フォーラム in 北長門」

実行委員会を設立

平成15年の春と秋に、長門地域1市3町と萩市において世界各国の外交官らを迎えて開かれる「2003地球環境米米フォーラム in 北長門」を主催する実行委員会の設立総会が4月16日、油谷町文化会館ラポールゆやで開催されました。

総会には、二井知事をはじめ地元選出の県議、関係2市3町の首長、議長、農林水産団体、各種地域組織の代表など約40人が出席し、実行委員長に松林市長、副委員長に藤田油谷町長を選任した後、開催計画案が審議され承認されました。

計画案によると、フォーラムは約50カ国の外交官とその家族約100人が参加するほか、そのホームステイ先となるホストファミリー、地元ボランティアなど千人規模のイベントになる見込みで、平成15年5月31日と6月1日に「植稲祭」田植えフェスティバル」、9月27日と28日に「稲刈祭」稲刈りフェスティバル」を計画。稲作体験は油谷町後畑の棚田で行い、春の開会式と秋の閉会式はルネッサながと

で行う計画となっています。

米米フォーラムは、平成11年度に石川県輪島市で第一回目が開催され、北長門地域が五回目の開催地となります。世界各国の外交官とその家族を迎え、地元小中学生、地域住民の参加による稲作体験、地域の民家へのホームステイなどのイベントを通じ、米、稲作、農業という視点から地球環境を考えるもので、国際交流や観光振興面でもその効果が期待されています。

同実行委員会の事務局は長門市農林課(☎23・1139)



IWC年次会合の成功と捕鯨再開を訴える

全国キャラバン隊到着

4月25日から下関市で開催されるIWC(国際捕鯨委員会)の年次会合の成功と捕鯨再開を訴える全国キャラバン隊が、長門市に到着し、市内で集めた約850人の署名が松林市長から藤川隊長に手渡されました。

松林市長は、「クジラと関わりの深いまちとして、成功を祈っています」と激励しました。

一行は4月2日に東京を出発。北陸や近畿から山陰を回り、山口市、小野田市を経由し最終目

的地の下関市を目指し長門市を後にしました。



青海島シーサイドスクエア内に

みずぐ通りの案内看板完成

みずぐ通りや市内観光スポットをわかりやすく説明した案内看板が、青海島観光スクエア内に完成しました。

案内看板は、縦1.8m×横3mの大きさで、みずぐ通りの観光ポイントを詳しく説明しています。

また、「みずぐ通り」をはじめとして市内の観光ポイントを手際よく効率的に「みずぐのふるさと」めぐりが楽しめる案内看板になっています。

